

平成20年度「新たな公」によるコミュニティ創生支援モデル事業

モデル事業名	公共交通の維持・活用を核とした集落機能維持推進事業
対象地域	岡山県笠岡市神島(こうのしま)地区
活動概要	<p>架橋や干拓地を通じて本土と陸続きとなっているものの独立したコミュニティが形成されている神島地区は、人口が減少し、高齢化率も高く、地域の活力の低下が顕在化している。地区内にはバス路線があり、市中心部への買物や通院、通学を始め、住民の生活を支える貴重なインフラとなっているが、利用者数が少ないこともあり、住民の間で運行路線やダイヤの見直しが懸念されている。</p> <p>以上の背景から、神島地区において、自治会組織・NPO・行政による「新たな公」を組織化して支援を行いながら、集落住民の主体性に基づき、公共交通の維持・活用と集落機能の維持に関する調査と多角的利用に関する実験的取り組みを通して、集落における課題の解決方法や将来の集落の姿の検討を行い、公共交通の維持・活用を核とした集落環境の維持・改善に取り組むものである。</p> <p>特に、従前は島であったという地理的特性に対して、①特異性のある地域資源の活用と課題の解決を軸とした公共交通の維持・存続に向けた利用計画を、②地域住民自らが立案して実行すること、及び③生活機能の補完、生業の確保、地域住民間・市民との交流の促進といった公共交通の多様な主体による参画と多角的利用により、持続ある公共交通の運行と集落の活性化を目指すことに力点を置く。</p>
今年度の主な取組	<p>「笠岡市公共交通の維持・活用を核とした集落機能維持推進協議会」が主体となり、以下の取り組みを実施することにより、公共交通の維持・存続の検討を行う。</p> <p>①集落住民の移動実態とバス利用意識等に関するアンケート調査を行う。</p> <p>②アンケート調査をもとに、地域資源の整理や現状の地域交通の課題等を検討するワークショップを実施する。</p> <p>③上記の活動を踏まえ、バスの多角的利用に関する社会実験を企画・実施する。</p> <p>④実験成果等を検証し、集落の維持・活性化のための地域における公共交通機関のあり方を取りまとめる。</p>
活動結果	<p>アンケートについて、年齢が10代の若者は転出要望を持つ割合が突出して高い一方で、「積極的に地域づくりに参加したい」とする割合も高齢者と同等に高いことが分かった。このことは地域づくりのカギとして高校生等の子供を活かした取り組みの必要性が見えてきた。</p> <p>公共交通のあり方について、具体的運行方法までは検討・共有できたが、運営面については依然として市に依存しなければならないと認識している。しかし、今後も公共交通のあり方について様々な場所で住民同士の意見交換が行われていくと見込まれる。</p>

<p>当初予想していなかった効果</p>	<p>バスの多角的利用に関する社会実験として実施したデマンドタクシーの よる運行実験を請負ったタクシー会社からも様々なアドバイスを受け、一 緒に運行方法等を検討することができた。</p>
<p>実施状況(写真)</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <p>【写真】 実験運行の様子 地域住民等によるワークショップ</p>
<p>応募団体名</p>	<p>笠岡市公共交通の維持・活用を核とした集落機能維持推進協議会</p>
<p>リンク</p>	
<p>部局／担当者名</p>	<p>事務局：(特)NPO支援全国地域活性化協議会理事 吉戸 勝</p>
<p>連絡先</p>	<p>03-3263-3861</p>
<p>推薦市町村名</p>	<p>笠岡市</p>